

大雨シーズンに備え防災意識高める
磐井川河川緑地公園で水防訓練

市の「水防訓練」は7月2日、磐井川河川緑地公園で開かれました。市消防団で組織する水防隊員が、堤防の亀裂を防ぐ「籠止め（鉄線）工法」や堤防外への水漏れを防ぐ「改良釜段工法」などの技術を披露し、関係機関や市民らと共に防災意識を高めました。

市民も訓練の見学ができるよう、会場を同公園に移して3回目となる同訓練。水防隊、市消防本部、自主防災組織、婦人消防協力隊や一般市民など、約1,100人が参加しました。それぞれの訓練ブースには多くの親子連れなどが訪れ、非常食の試食、はしご車への搭乗や応急手当てなどを体験していました。

集中豪雨やゲリラ豪雨が増えていることから、1時間あたり200mmの降雨の再現ができる装置を新たに用意。一関小1年の糟川玲緒奈さんは「今まで経験したことのないくらい強い雨だった」と驚いていました。

今年は昭和22、23年に本市に甚大な被害をもたらした「カスリン・アイオン台風」から70年目の節目。水害の被害写真パネルの展示のほか、女性消防団員「なの花隊」がアイオン台風で被災した千葉貞子さん（宮前町・77）の体験を題材にした紙芝居の朗読を行いました。来場者らは足を止めて見入り、水害のおそろしさや被害の大きさを実感していました。



1_くいを堤防に打ち付け、籠止め工法に取り掛かる水防隊員／2_堤防がえぐられるのを防ぐTマット工法／3_救護体験に挑戦／4_1時間あたり200mmの豪雨を体験する糟川玲緒奈さん／5_パンやビスケットなどがそろった非常食の試食コーナー／6_岩手県防災航空隊は防災ヘリによる救助訓練を行った

爽やかに咲く白い花々にうっとり
夏陽に輝く3千株のアジサイを愛でる

「川崎あじさい公園まつり」（同実行委主催）は7月9日、JR陸中門崎駅前の同公園で行われ、地域住民ら約450人がアナベルやヒメアジサイなど5品種3千株のアジサイを鑑賞しました。川崎保育園の園児29人がダンスで開催を祝ったほか、バルーンアート、餅振る舞い、産直市や郷土芸能発表など、さまざまな催しでにぎわいました。

佐藤泰成君（川崎町・5つ）は「アジサイがきれいだった。バルーンアートも楽しかったです」とにっこり。

千葉博実行委員長は「地域の皆さんと一緒に作ったあじさい公園。参加者の明るい表情が励みになる」と話していました。



「親子でピカチュウと楽しむ列車」をコンセプトに
ポケモンレイン気仙沼号がリニューアル

内装や外装を一新したJR東日本の「POKÉMON with YOU トレイン」の車両展示会は7月9日、一関駅で行われました。

同車両は「ポケモンレイン気仙沼号」として、東日本大震災の復興支援と地域活性化を目的に2012年12月から大船渡線で運行。導入5年目を迎え、「親子でピカチュウと楽しむ列車」をコンセプトに、壁、シートやプレイルームなどさまざまな箇所をリニューアル。見学に訪れた佐藤煌太君（8歳・山目）は「デザインがとてもかわいい」と目を輝かせていました。

同車両は全車指定席。土日・祝日のほか、7月29日から8月20日まで平日も運行します。

日本のハーブの魅力を再発見
県内初の全国ハーブサミット、フェス開催

「TOUHOKUハーブの可能性 四木一草・ハーブとの出会い」をテーマに第24回全国ハーブサミット in 一関、一関ハーブフェスティバルは6月24、25の両日、市内3会場で開催されました。

同サミットは1992年から全国で持ち回り開催されており、県内では初めての開催。24日、藤沢文化センター「縄文ホール」で開かれたフォーラム&パネルディスカッションには全国のハーブファンや関係者など約500人が来場。「ハーブスペシャリスト達、日本のハーブを語る」をテーマに、ハーブの普及や研究に取り組むパネリスト7人が活動を発表し、ハーブの魅力を探りながらハーブのある暮らしと地域づくりを呼び掛けました。

来場した志岐昭恵さん（49）と彩佳さん（27）親子は「ハーブの魅力は香りや色。料理にハーブを添えればおしゃれな気分になれる」「ハーブと野菜を隣り合わせて育てることで病害虫を抑え、被害を少なくすることができることを知った。家でも試してみたい」とハーブの魅力と効能に関心を寄せていました。

最終日の25日には清庵野草園の散策や摘み草料理体験（世嬉の一酒造）、ハーブやエディブルフラワーを使った料理の振る舞い、にぎわいマルシェ（花と泉の公園）、ラベンダー畑でのコンサート（館ヶ森アーク牧場）など、地域の特色を生かしたイベントが繰り広げられました。



1_ハーブ界のスペシャリストがタメになる情報を発表／2_会場の縄文ホールは500人の聴衆で満席に／3_清庵野草園でハーブの文化に触れた／4_花と泉の公園では、つきたての餅に日本のハーブを取り入れた創作料理を振る舞った／5_館ヶ森アーク牧場のラベンダー畑に爽やかな歌声が響いた

サンバの祭典「サンバDE GO!」へようこそ
華やかなダンスで夏の夜を盛り上げる

「サンバDE GO!」は7月8日、せんまや夜市に合わせて行われ、会場の千厩商店街を訪れた人たちはサンバの音楽と華やかな踊りを楽しみました。

同イベントは千厩商店街を活性化させる夏のイベントとして東京のサンバチームを招いて6年前から行われています。

サンバグループ「G.R.E.Sフェスタンサ」から30人が千厩商店街を訪れ、情熱的な踊りを披露しました。藤沢町から家族4人で訪れた高橋香さんは「2年ほど前にもサンバを見に来ました。プロの踊りは迫力があってすごかったです」と見入っていました。



4市町（一関、栗原・登米・平泉）連携事業
骨寺村荘園遺跡を舞台にウォーキングで交流

「栗原市・登米市・平泉町・一関市民交流会 いちのせきウオーク2017」は6月24日、骨寺村荘園遺跡などを会場に行われ、4市町から合わせて約100人が参加しました。

当日は「いちのせき歩こう会」がウォーキングを指導。「いわいの里ガイドの会」が骨寺村荘園遺跡の解説を行い、参加者はストックなどを携えて骨寺村荘園遺跡など3ヶ所のコースを散策しました。

同イベントは、4市町連携事業の一環として、ウォーキングを通じて県境を越えた交流を目的に開催。次回は11月に栗原市、登米市でウォーキングのイベントが行われる予定です。

おわびと訂正...7月1日号の記事に誤りがありました。おわびして訂正します。21頁...【正】宇宙の微塵となりて無方の空にちらばらう